

4

骨粗しょう症検診

1 実施状況

13団体から検診の委託を受け307人（男性73人、女性234人）を実施した。

2 検診方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨を測定した。

3 判定基準

		異常認めず	要 指 導	要 精 検
音響的骨評価値 ($\times 10^6$)	男	2.630以上	2.351～2.629	2.351未満
	女	2.428以上	2.158～2.427	2.158未満

4 事後指導

保健師により、骨粗しょう症予防の為の適切な食習慣や運動習慣に関する個別指導を実施した。

表1 性・年齢階級別判定内訳

		受診者数	異常認めず (%)	要 指 導 (%)	要 精 検 (%)
男	19歳以下	1	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	20～24歳	5	4 (80.0)	1 (20.0)	0 (0.0)
	25～29歳	7	5 (71.4)	2 (28.6)	0 (0.0)
	30～34歳	6	5 (83.3)	1 (16.7)	0 (0.0)
	35～39歳	4	3 (75.0)	0 (0.0)	1 (25.0)
	40～44歳	9	5 (55.6)	3 (33.3)	1 (11.1)
	45～49歳	4	3 (75.0)	1 (25.0)	0 (0.0)
	50～54歳	13	4 (30.8)	6 (46.2)	3 (23.1)
	55～59歳	11	2 (18.2)	5 (45.5)	4 (36.4)
	60歳以上	13	4 (30.8)	8 (61.5)	1 (7.7)
	計	73	36 (49.3)	27 (37.0)	10 (13.7)
女	19歳以下	0	-	-	-
	20～24歳	3	2 (66.7)	1 (33.3)	0 (0.0)
	25～29歳	12	9 (75.0)	3 (25.0)	0 (0.0)
	30～34歳	10	9 (90.0)	1 (10.0)	0 (0.0)
	35～39歳	16	14 (87.5)	2 (12.5)	0 (0.0)
	40～44歳	20	18 (90.0)	2 (10.0)	0 (0.0)
	45～49歳	27	24 (88.9)	3 (11.1)	0 (0.0)
	50～54歳	39	26 (66.7)	11 (28.2)	2 (5.1)
	55～59歳	49	19 (38.8)	24 (49.0)	6 (12.2)
	60歳以上	58	21 (36.2)	29 (50.0)	8 (13.8)
	計	234	142 (60.7)	76 (32.5)	16 (6.8)
	総 数	307	178 (58.0)	103 (33.6)	26 (8.5)